

美川自然クラブ

H・16 12月号

でーす

サケの一生

「美川自然クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

散歩に行き 鮭の遡上を見えました。

熊田川の橋の上から身を乗り出すと怒々と泳いでいる鮭が見えました。（前回は手取川で見ましたが、その時は浅瀬を遡うようにバシバシ力強く泳いでいました。）流れはゆるやかで、気持ちがよく、そうに見えましたが・・・鮭にとっては一生の大事な仕事が残っているのでも死んだのかも知れません。



今月は鮭について少し勉強してみました。

サケもともと淡水のさかなですが、成長の一時を海で生活するように変わっていったものと考えられます。

川や湖でたまごを産む時が、海の中より敵が少なく安全。

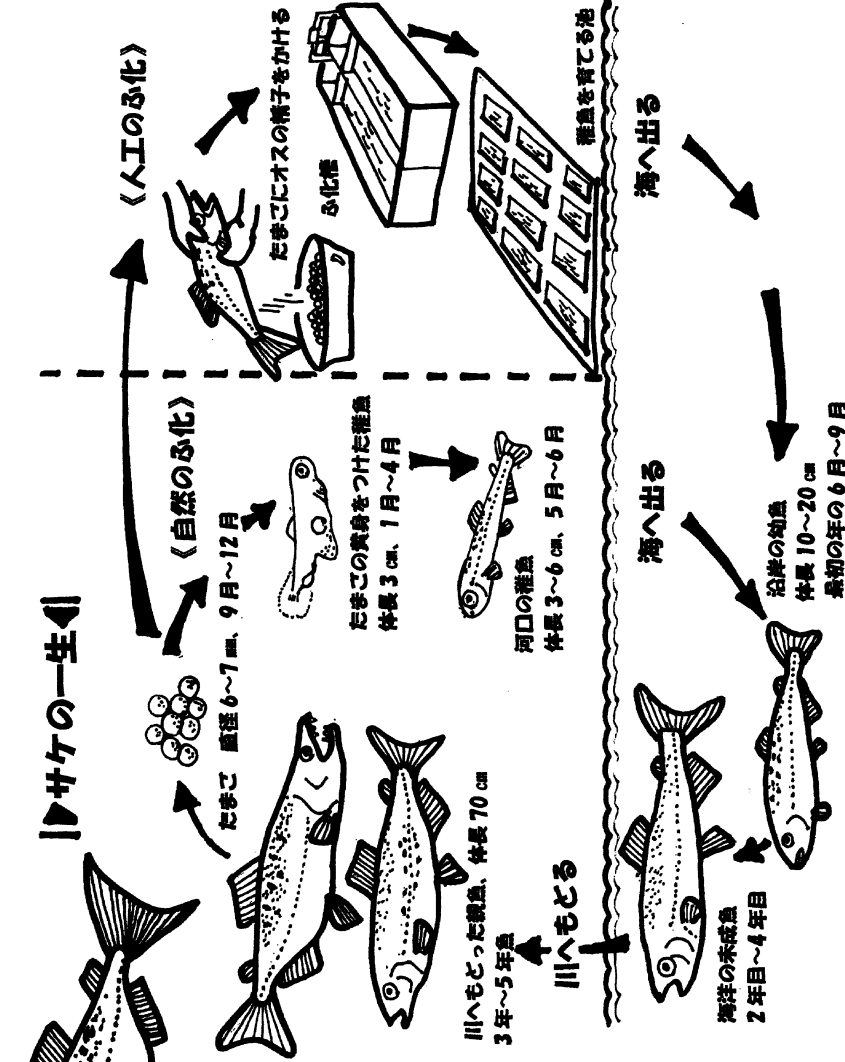
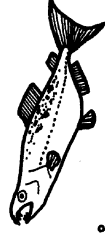


大きく成長するには、海の時がエサがたくさんある。



それで川や湖で生まれ、海に下って大きく成長し、たまごを産むためにまたたび川にのぼるといった特徴を持つようになったのでしょ。

サケが生まれた川にさかのぼる習性を「母川回帰性」といいます。



せっかく美川に住んでいながら、鮭の遡上を一度も見ただことのない

人はいませんか？

なんだかもったいないなような気がします。自然の循環がこんな間近で見ることができると・・・。

話んの少し、まわりの生き物や自然に関心をもちましょ。そうすれば、自分のまわりの生き物や自然にやさしくなれるような気がします。いつまでもずっと、鮭もどってくる美しい川をみんなの力でまもっていきましょ。